

1. 目標	(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します		
とりまとめG	福祉部 保健福祉G	担当G	福祉部 保健福祉G 福祉部 生涯現役まちづくりG こども未来部こども育成G

2. 目標が達成された姿
◇ 健康や介護予防に関する知識が身についています。 ◇ 毎日、健康づくり活動が地域で展開されています。 ◇ 一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち、自分の体質・体調・病気について相談することができます。 ◇ 健康診査受診率が向上し、早期発見・早期治療ができ、健康寿命が伸びています。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—						
目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度 評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) 日常的に運動やスポーツを行っている人の割合	34.3%	35.5%	34.8%	36.0%	40%	
2) 栄養や食生活に気をつけている人の割合	80.2%	80.3%	80.4%	81.4%	83%	
3) かかりつけ医を持っている人の割合	68.4%	71.5%	73.5%	72.8%	72%	

4. 【CHECK】 市民意識調査結果					
設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う	52.2%	57.1%	57.9%	61.7%	

そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない
 そう思わない 回答なし

性別	年齢別	そう思う (%)	どちらかといえばそう思う (%)	どちらかといえばそう思わない (%)	回答なし (%)	n	実績値 (%)
全体		8.2	53.5	27.9	7.6	985	61.7
男性		7.5	51.4	31.6	8.2	389	58.9
	女性	8.5	55.3	25.9	7.4	579	63.8
年齢別	10歳代		44.4	44.4	11.1	9	44.4
	20歳代	9.6	53.0	26.5	9.6	83	62.6
	30歳代	6.6	48.0	32.9	10.5	152	54.6
	40歳代	7.2	61.1	23.6	6.7	208	68.3
	50歳代	5.6	46.3	37.7	8.6	162	51.9
	60歳代	4.8	55.9	29.6	8.1	186	60.7
	70歳以上	16.6	55.2	18.8	5.5	181	71.8

5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)
◆ 目標の「一人ひとりの元気と健康づくり」を「応援」するための柱としての「達成指標」を<運動><栄養><医療>としている。この3本の柱の指標を達成するためには、①情報や知識 ②健康づくりを始める行動のきっかけ ③行動を続けるための仕組みや環境が必要である。
◆ <運動><栄養><医療> 3項目の指標全てにおいて計画策定時の値からの向上が見られたものの、目標値に達していない指標もある。

(前期) 施策評価シート

6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)				
アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.50】高齢者の生きがいと健康づくり応援事業	現行 どおり	いきいき健康マイレージポイント対象活動数	3 活動	3 活動
		いきいき健康マイレージ各種活動通帳の発行件数	1,011 件	1,300 件
【No.51】生涯現役のまちづくり創出事業	ゼロベ ースで 見直し	生涯現役のまちづくり調査研究委員会各 チーム会議の開催数	32 回	36 回
		市内に認定された健康自生地の数	38 地区	20 地区
【No.52】 地域医療振興事業	現行 どおり	休日診療開設日数	70 日	66 日
		休日診療利用者数	2,387 人	2,200 人
【No.53】子育て推進事業 (こども食育推進事業)	現行 どおり	普及啓発事業実施回数	6 回	6 回
		普及啓発活動参加者数	1,819 人	1,200 人

7. 【CHECK】これまでの主な取組みと成果

- 【No.50】平成 23 年度から「いきいき健康マイレージ制度」を開始した。一人でも多くの対象者に参加、登録していただくため、PR 活動に努めるとともに、必要時にはこちらから出向き、出張登録も行った。
- 【No.51】平成 23 年 10 月から調査研究をスタートし、平成 24 年度に入ってから、高齢者ニーズ調査を実施するとともに、モデル地区として 2 地区（南部地区・吉浜地区）を選定し、地域の実情に合わせ、具体的に資源を活用したプログラムやメニューの実践を開始した。平成 25 年度には、居場所やいきがいづくりのしくみとして、「健康自生地」の認定を開始するとともに、情報発信として情報誌「まいにちでかける でいでーる」を刊行して、全世帯配布した。また、ホームページ「たかはま元気 de ねっと」の運用を開始した。
- 【No.52】定住自立圏共生ビジョンにおいて、地域医療ネットワークを構築し、平成 24 年 10 月から刈谷豊田総合病院と診療所間を結ぶネットワークの接続工事を開始、平成 25 年 1 月より本格稼働した。
- 【No.53】平成 23 年度は「朝食」、平成 24 年度・25 年度は「つくる」を年間テーマとして定め、幼保小中や一般から食育に関わる絵や自由研究等を募集し、優秀者にはカワラッキー賞として表彰することで、食に対する意識を高めることに努めた。

8. 【CHECK】【ACTION】課題と今後の取組みの方向性

(1) いきいき健康マイレージ制度の充実

参加（登録）人数を増やし、生涯現役のまちづくりや New ボランティア人と連動した取り組みが必要である。そのため、これまでのいきいき健康マイレージに加え、最初のきっかけ作りとして、ハードルを下げた気軽な・手軽な制度を新たに作る。また、一人ひとりが役割を持って生きがいが見つけられるよう、健康自生地をはじめとした、担い手の発掘及び育成に取り組む。

(2) 地域医療ネットワークの利用促進

より多くの市民に地域医療ネットワークを利用していただけるよう、その仕組みや利便性を広報に掲載するなどして PR する。

(3) 高齢者の居場所及び生きがいづくり

介護保険制度の要支援の枠組みが今後見直される予定であり、要支援サービスが受けられない人が出てくる。その人たちの受け皿になるよう、先駆けて生涯現役のまちづくりを推進していく。また、高齢者が自宅に閉じこもることなく、自分らしく、生きがいを持ち、可能な限り介護を必要とせず、自己選択・自己決定による尊厳のある活発な暮らしが実現できるようにしていく。

9. 【CHECK】第 6 次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果

- 市民意識調査結果が、計画策定時と比べ大きく向上した。健康マイレージや生涯現役のまちづくり（健康自生地）の取組みが功を奏したのではないかとと思われる。これらの事業は自分で目標を設定することができ、また仲間とつながり合い、楽しみながら健康づくりに取り組めるものである。今後も、これらの事業をますます中身のある、生きたものにしていただきたい。